

事務事業名		運動公園スライダープール撤去事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15351	一般	10	5	2	運動公園スライダープール撤去事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H25年度～H26年度		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則 佐野市都市公園条例及び同条例施行規則		実施方法		指定管理者	
	事業区分		実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		該当		
	事業区分		市長マニフェスト		市長マニフェスト		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・昭和59年度に設置された運動公園プールにおいて、スライダープールの経年劣化による損傷が顕著であり、民間検査機関による検査においても利用に堪えないとの状況から、利用者の安全性を確保するためスライダープール並びに着水プールの撤去を実施する。			事業概要のとおり							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			改修整備する施設数	施設		1				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・市民。 ・運動公園プール。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人		122,582				
			改修整備する施設数	施設		1				
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			運動公園プール利用者数	人		31,177				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
① 良好な状態を維持する。 ② 施設を有効活用している。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			スポーツ施設整備計画の達成度	%	-	-	30.0	35.0	40.0	
			指定管理者の自主事業数	事業	-	41	42	44	46	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		22,238				
	事業費計(A)	千円	0	22,238	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					設計委託料	486		
					工事請負費	21,752		
人件費	千円	0	197	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	22,435	0	0	0		

事務事業名	運動公園スライダープール撤去事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成26年度のプール開設前の点検において、スライダープールの経年劣化による損傷が顕著であり、民間検査機関による検査においても利用に堪えないとの状況から、利用者の安全性を確保するためスライダープール並びに着水プールの撤去を実施することとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・運動公園プールは、市民の健康増進につながる施設である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・市が設置した施設である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・改修整備を行うことで利用者が安全で快適に利用できる施設となる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・維持管理については、必要最小限の整備を行っているため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・必要最小限の経費で実施する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	・改修事業が完了すれば事業終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			